

## 2023 年度 第 2 回 CPC 研究会

日 時 : 6 月 23 日 (金)  
会 場 : 連 合 会 館 201 会 議 室  
(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)  
参加費 : 維持会員・大学官公庁関係＝無料 / 非会員＝30,000 円  
<http://cpc-society.org/>

13:30～14:55

### 「微小空間に閉じ込められた分子集団のミクロからマクロ:*In-situ* X 線散乱法による 吸着状態の可視化」 信州大学 二村 竜祐 氏

- 1) ナノ空間科学と X 線散乱測定法
- 2) 疎水性ナノ空間における水の特異な相挙動
- 3) 導電性ナノ空間におけるイオン液体の超イオン状態形成

吸着現象は、省エネルギーでクリーンな分子分離や、水素やメタンなどのエネルギー分子の安定貯蔵を可能とし、これらは 21 世紀を支える科学技術といっても過言ではありません。しかし、固体に囲まれたナノ空間での吸着現象を直接観察するのは大変困難です。我々は、多孔性材料の有するナノ空間に閉じ込められた分子集団について *in-situ* X 線散乱測定から検討を行い、ナノ空間特有の相挙動や特異物性を明らかにしてきたので報告します。

15:05～16:30

### 「高分子からグラファイトを作る」

株式会社カネカ 村上 睦明 氏

- 1) 低次元グラファイト
- 2) 高分子からグラファイトを作る
- 3) グラファイト膜の応用
- 4) グラファイト薄膜・超薄膜
- 5) グラファイト薄膜・超薄膜の応用
- 6) 終わりに

高分子からグラファイトを作製する技術は、現在大きな産業(世界の生産額 3000 億円/年)に成長しています。講演者は 40 年間この技術開発に携わってきました。講演では最初に、発明に至ったきっかけ、グラファイト化反応機構と得られる物性、事業化の壁の克服、いろいろな応用展開についてお話しします。この技術は最近新たな展開を見せ、例えば厚さ 10nm の超薄膜も作製されています。講演ではこの様な最近の技術の進捗と、それによって実現した新しい応用展開についても紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: [sec@cpc-society.org](mailto:sec@cpc-society.org) または FAX: 03-5821-7439  
6 月 23 日の第 2 回研究会に参加します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係  
ご所属:  
Tel: Fax: E-mail: